



大自然が育む「水」を
まちのブランドに

長野県大町市

位置

- ・長野県北西部
- ・人口約26,000人
- ・白馬村や長野市と隣接



大町市キャラクター
おおまびよん



地勢

- ・ 標高3000m級の山々が連なる北アルプスの麓
- ・ 森林面積が約8割
- ・ 仁科三湖と呼ばれる3つの湖
- ・ 北アルプスを源とする高瀬川などの河川



大町市の現状



中網湖

かつて・・・

- ・ 塩の道の宿場町
- ・ 豊富な水を活かした企業城下町
- ・ 黒部ダム建設時の工事基地として賑わい
- ・ 登山客やスキー客での賑わい

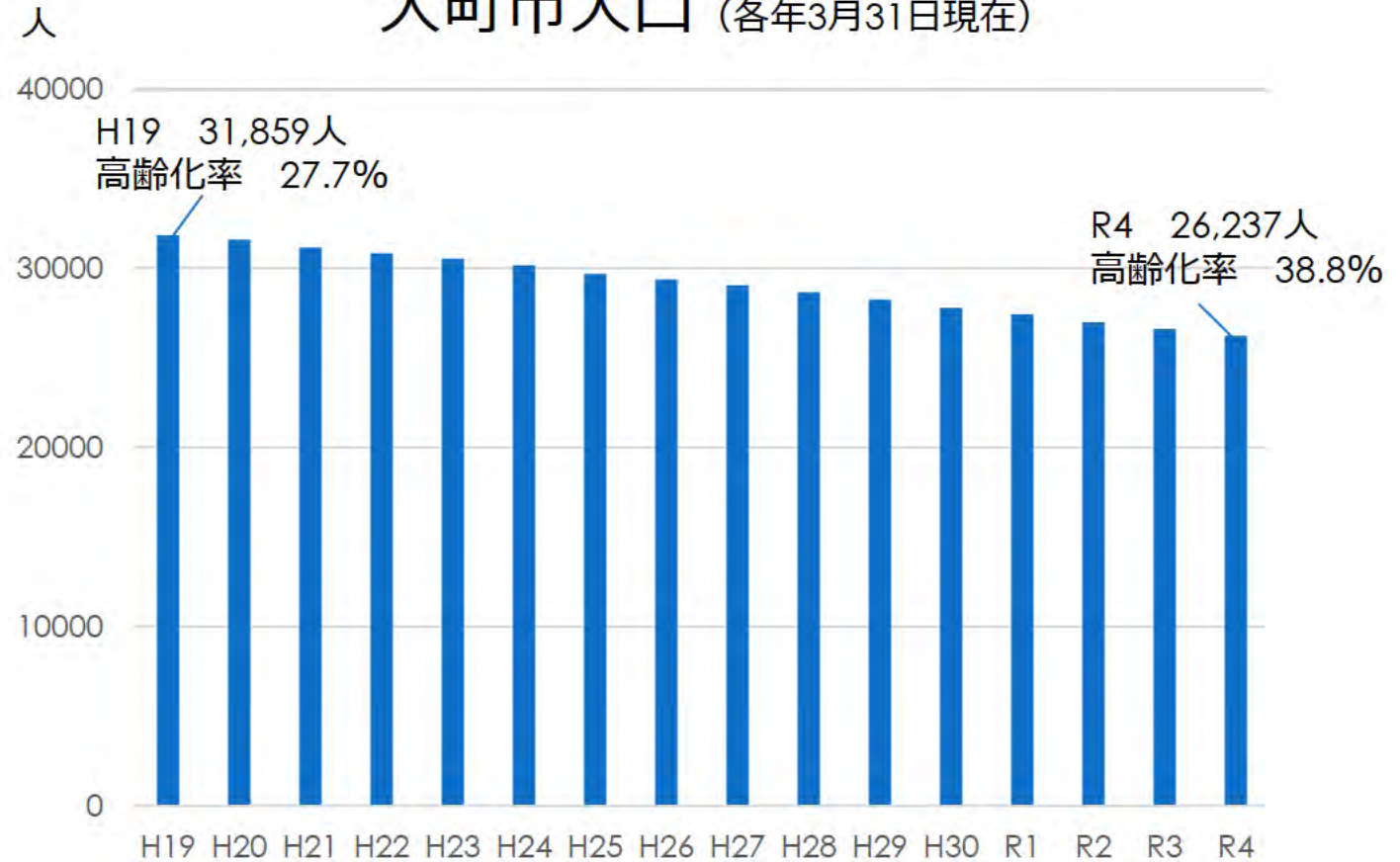


⇒ 水とともに生きてきた歴史

近年～現在

- ・ 少子高齢化や企業の撤退
- ・ スキー客の低迷、季節変動の大きな観光客の入込み
- ・ 団体から個人へ旅行形態の変化
- ・ インバウンドに支えられた観光業もコロナ禍で打撃

大町市人口 (各年3月31日現在)



⇒ 人口減少と高齢化の進展
中心市街地の衰退と
観光産業の低迷

現 状

- 立山黒部アルペンルート
長野県側起点
- 県内屈指の水田地帯
- 水を活用した企業やビジネス
ホテルの進出
- SDG s 未来都市に県内市町村
初の選定
- 移住定住施策の推進
- 北アルプス国際芸術祭開催
- みずのわプロジェクト着手



 NORTHERN ALPS ART FESTIVAL
北アルプス国際芸術祭 2020-2021



⇒水を起点としたまちづくり

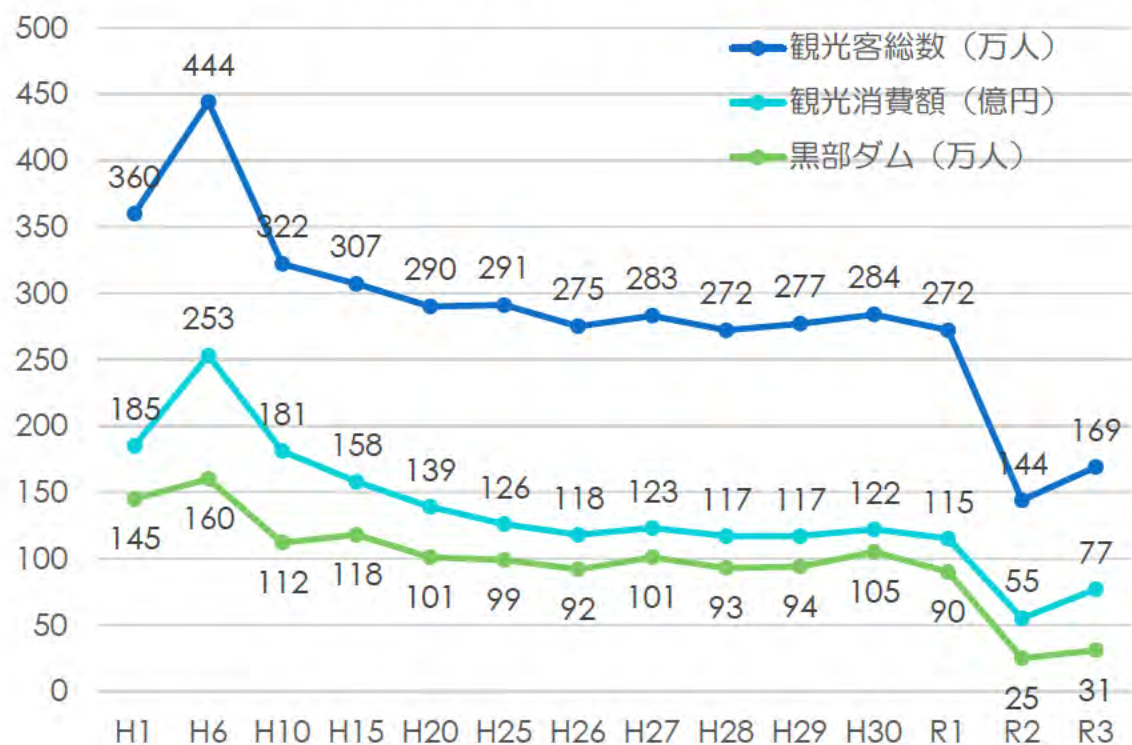
地域の活性化に 向けて



高瀬渓谷

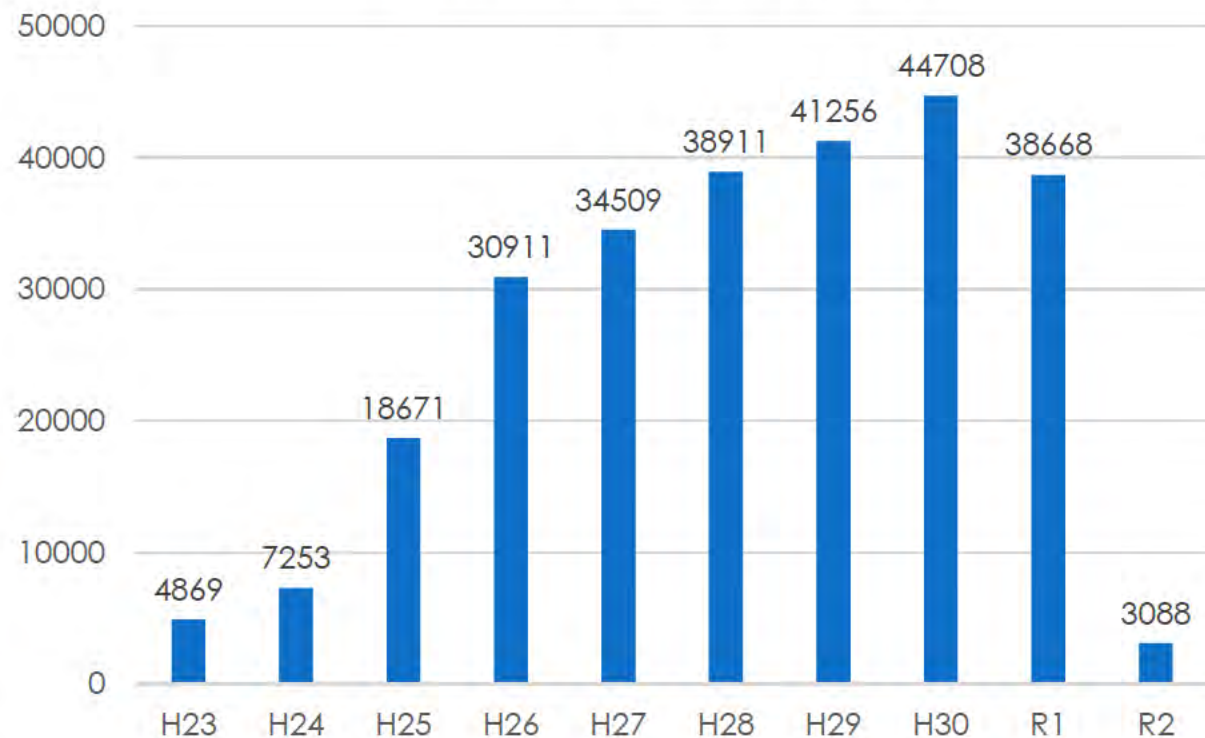
大町市における観光産業の状況

観光客の入込数の推移



訪日外国人延宿泊者数

人



現状の課題

- ・ 自然は豊か。それを活かした観光バリエーションが乏しい
- ・ 素材を活かした特別感が不足

「今だけ」、「ここだけ」、「あなただけ」

- ・ 地域の活性化（雇用）にもつながる企業活動＋コンテンツが不足
- ・ 通過型観光のため、地域の活性化やまちの賑わいに繋がっていない

時代のニーズにあった地域の魅力のグレードアップ

- インバウンド中心
- 比較的高い年齢層
- 自然や風景を鑑賞（受動的）
- ファスト（通過型）
- 企業立地



- インバウンド+国内
- **全世代**（特に女性や若者）
- **体感、学び**（能動的）
- **スロー**（滞在型）
- 企業立地+**地域の魅力発信**

大自然が育む「水」をまちのブランドに



北アルプスの麓 水が生まれる

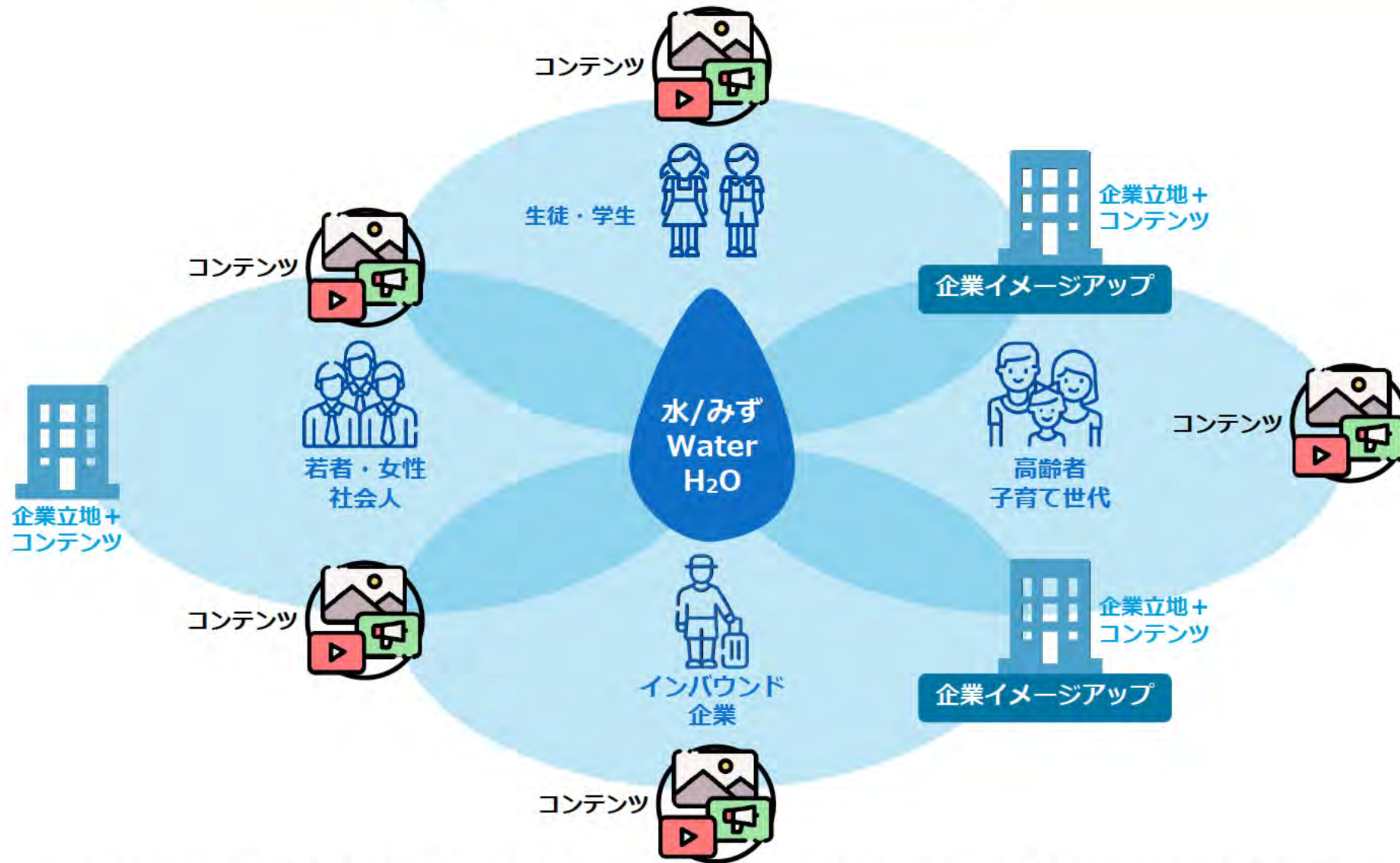
信濃大町



そのための取り組みとして

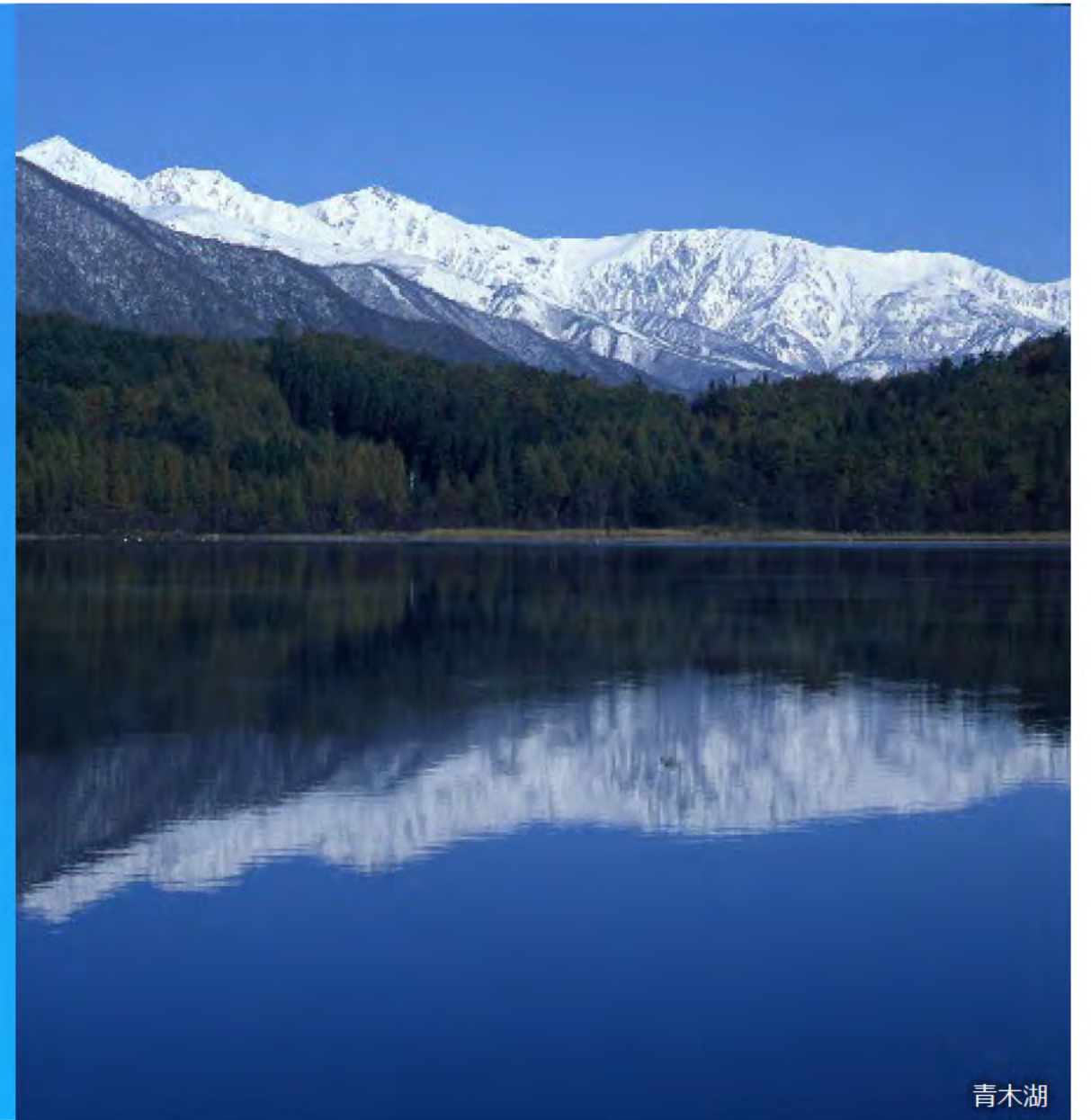
- ・ 大町の「水」の魅力をアピール
- ・ オールシーズン対応・全世代型観光

水を起点とした全世代型観光



学校向けの学習旅行を起点として、水紋が広がるように全世代に対応できる取組への進化をめざす

大町市の強み



青木湖

大手飲料メーカーはじめ
電力、農業、産物等
様々な水の活用が見られる

黒部ダムには
全世代+イバウト
が来訪

天然記念物
雷鳥がいる
山岳博物館

温泉があり
宿泊できる施設多数

大町市の 強み

SDGs未来都市
選定

県内主要観光地
(善光寺・松本城など)
に近い

著名な白馬に
隣接

関東、関西から
程よい距離

外国人
延宿泊客
4.5万人
(H30)

国宝・重要文化財など
一般に知られていない
文化財が豊富

令和3年度より「みずのわプロジェクト」
として産官学金で着手

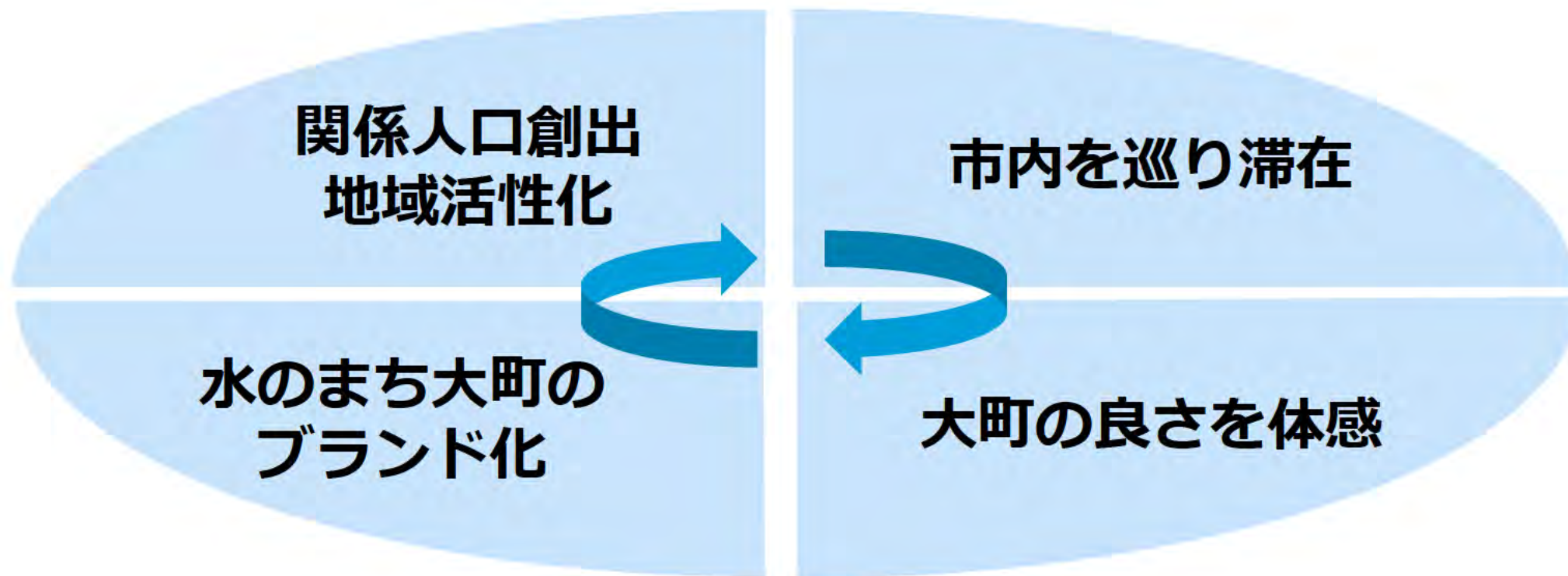
令和4年度に企業や行政からなる
学習旅行誘致協議会を設立



官民一体で取り組みをバックアップ



信濃おおまち
みずのわ
プロジェクト
MIZUNOWA PROJECT
OMACHI, NAGANO, JAPAN



水が繋ぐ「まちとひと」～100年先の未来へ

大町市の地域資源である水を起点とした持続可能なまちづくりを推進

ご清聴
ありがとうございます
ございました

